



2021年11月12日

各位

会社名 株式会社ジーネクスト
代表者名 代表取締役 横治 祐介
(コード番号: 4179 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 三ヶ尻 秀樹
(TEL. 03-5962-5170)

第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異 (2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	親会社株主に 帰属する四半 期純損失(△)	1株当たり 四半期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	328	△117	△119	△120	△28.89
実績値(B)	221	△177	△178	△180	△43.42
増減額(B-A)	△106	△59	△59	△60	
増減率(%)	△32.5	—	—	—	

2. 差異の理由

売上高については、期初予想より特に大企業における導入意思決定が長期化・遅延しています。クライアント社内での基幹システム刷新(クラウド化)やリモートでの意思決定機会の増加により、導入までの意思決定リードタイムが長期化・遅延し、受注が後ろ倒しとなる傾向が続いたことから、導入件数が当初の計画を4件下回った結果、売上高も計画を下回りました。

また、利益面については、売上高の減少及び、長期的な成長ドライバーとして期待される株主優待を一元管理するスマホアプリ『優待WALLET』やライト版の開発について予定よりも投資の時期を早めた結果、営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益ともに当初の計画を下回りました。

なお、通期業績予想につきましては、案件ごとの受注時期を慎重に見極める必要があることから、前回発表を据え置きとしておりますが、今後の事業環境や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で変更はございません。

以上